

国土交通省の業務等の概要

1. 国土交通省の所掌する業務の概要

国土交通省は国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのため社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、気象業務の健全な発展並びに海上の安全及び治安の維持を図ることを任務とし、この任務を達成するために必要な事務をつかさどる。

2. 国土交通省の会計間の財政資金の流れ

以下のとおり、一般会計から各特別会計への繰入を行っている。

- ① 道路整備、治水、港湾整備、空港整備の各特別会計の事業に要する経費の財源の各特別会計への繰入
- ② 自動車検査登録特別会計における自動車重量税の納付の額の確認等の事務に要する経費の財源の同特別会計への繰入
- ③ 都市開発資金融通特別会計における都市開発資金貸付金の財源の一部に充てるための同特別会計への繰入

3. 歳入歳出決算の概要

(1) 一般会計

① 歳入

平成 17 年度における国土交通省主管歳入予算額は、34,851 百万円であって、その内訳は当初予算額 30,840 百万円、予算補正追加額 4,029 百万円、予算補正修正減少額 18 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 37,145 百万円であって、差引き 2,293 百万円増加した。

② 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 8,630,403 百万円であって、その内訳は歳出予算額 7,345,366 百万円（当初予算額 6,806,668 百万円、予算補正追加額 651,539 百万円、予算補正修正減少額 17,038 百万円、予算移替増加額 85,959 百万円、予算移替減少額 181,763 百万円）、前年度繰越額 1,271,979 百万円、予備費使用額 12,273 百万円、流用等増額 784 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 7,654,597 百万円、翌年度繰越額は 928,412 百万円、不用額は 47,393 百万円である。

(2) 自動車損害賠償保障事業特別会計

① 保障勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、73,551 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 73,987 百万円であって、差引き 436 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は歳出予算額 8,406 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 7,664 百万円、不用額は 742 百万円である。

②自動車事故対策勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、17,038 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 16,484 百万円であって、差引き 553 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は歳出予算額 17,038 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 16,104 百万円、不用額は 933 百万円である。

③保険料等充当交付金勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、235,811 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 195,588 百万円であって、差引き 40,222 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は歳出予算額 235,811 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 195,497 百万円、不用額は 40,313 百万円である。

(3) 道路整備特別会計

① 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、4,067,098 百万円であって、その内訳は当初予算額 3,893,335 百万円、予算補正追加額 176,710 百万円、予算補正修正減少額 2,947

百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 4,979,467 百万円であって、差引き 912,368 百万円増加した。

② 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 5,154,113 百万円であって、その内訳は歳出予算額 4,067,098 百万円（当初予算額 3,893,335 百万円、予算補正追加額 176,710 百万円、予算補正修正減少額 2,947 百万円）、前年度繰越額 1,035,738 百万円、特別会計予算総則第 13 条第 6 項の規定による経費増額 51,276 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 4,117,214 百万円、翌年度繰越額は 988,982 百万円、不用額は 47,917 百万円である。

(4) 治水特別会計

① 治水勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、1,213,260 百万円であって、その内訳は当初予算額 1,058,058 百万円、予算補正追加額 156,242 百万円、予算補正修正減少額 1,040 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 1,431,920 百万円であって、差引き 218,660 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 1,521,112 百万円であって、その内訳は歳出予算額 1,213,260 百万円（当初予算額 1,058,058 百万円、予算補正追加額 156,242 百万円、予算補正修正減少額 1,040 百万円）、前年度繰越額 276,599 百万円、特別会計予算総則第 13 条第 6 項の規定による経費増額 31,252 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 1,237,868 百万円、翌年度繰越額は 270,795 百万円、不用額は 12,448 百万円である。

② 特定多目的ダム建設工事勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、219,084 百万円であって、その内訳は当初予算額 205,182 百万円、予算補正追加額 14,087 百万円、予算補正修正減少額 185 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 258,826 百万円であって、差引き 39,742 百万円増加した。

□ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 249,691 百万円であって、その内訳は歳出予算額 219,084 百万円（当初予算額 205,182 百万円、予算補正追加額 14,087 百万円、予算補正修正減少額 185 百万円）、前年度繰越額 30,607 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 207,888 百万円、翌年度繰越額は 38,795 百万円、不用額は 3,007 百万円である。

(5) 港湾整備特別会計

① 港湾整備勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、369,170 百万円であって、その内訳は当初予算額 344,358 百万円、予算補正追加額 25,433 百万円、予算補正修正減少額 621 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 400,502 百万円であって、差引き 31,331 百万円増加した。

□ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 428,483 百万円であって、その内訳は歳出予算額 369,170 百万円（当初予算額 344,358 百万円、予算補正追加額 25,433 百万円、予算補正修正減少額 621 百万円）、前年度繰越額 57,639 百万円、特別会計予算総則第 13 条第 6 項の規定による経費増額 1,672 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 376,828 百万円、翌年度繰越額は 47,351 百万円、不用額は 4,303 百万円である。

② 特定港湾施設工事勘定

イ 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、8,281 百万円であって、その内訳は当初予算額 8,308 百万円、予算補正修正減少額 26 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 8,397 百万円であって、差引き 116 百万円増加した。

□ 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 8,431 百万円であって、その内訳は歳出予算額 8,281 百万円（当初予算額 8,308 百万円、予算補正修正減少額 26 百万円）、前年度繰越額 149 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 7,989 百万円、翌年度繰越額は 248 百万円、不用額は 193 百万円である。

(6) 自動車検査登録特別会計

① 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、58,587 百万円であって、その内訳は当初予算額 58,621 百万円、予算補正修正減少額 33 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 60,475 百万円であって、差引き 1,887 百万円増加した。

② 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 48,852 百万円であって、その内訳は歳出予算額 47,862 百万円（当初予算額 47,895 百万円、予算補正修正減少額 33 百万円）、前年度繰越額 989 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 45,373 百万円、翌年度繰越額は 1,224 百万円、不用額は 2,253 百万円である。

(7) 都市開発資金融通特別会計

① 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、69,277 百万円であって、その内訳は当初予算額 68,262 百万円、予算補正追加額 1,015 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 82,513 百万円であって、差引き 13,235 百万円増加した。

② 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 77,654 百万円であって、その内訳は歳出予算額 69,276 百万円（当初予算額 68,262 百万円、予算補正追加額 1,015 百万円、予算補正修正減少額 0 百万円）、前年度繰越額 8,378 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 54,952 百万円、翌年度繰越額は 6,689 百万円、不用額は 16,012 百万円である。

(8) 空港整備特別会計

① 歳入

平成 17 年度における歳入予算額は、503,167 百万円であって、その内訳は当初予算額 497,323 百万円、予算補正追加額 5,969 百万円、予算補正修正減少額 126 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 534,481 百万円であって、差引き 31,314 百万円増加した。

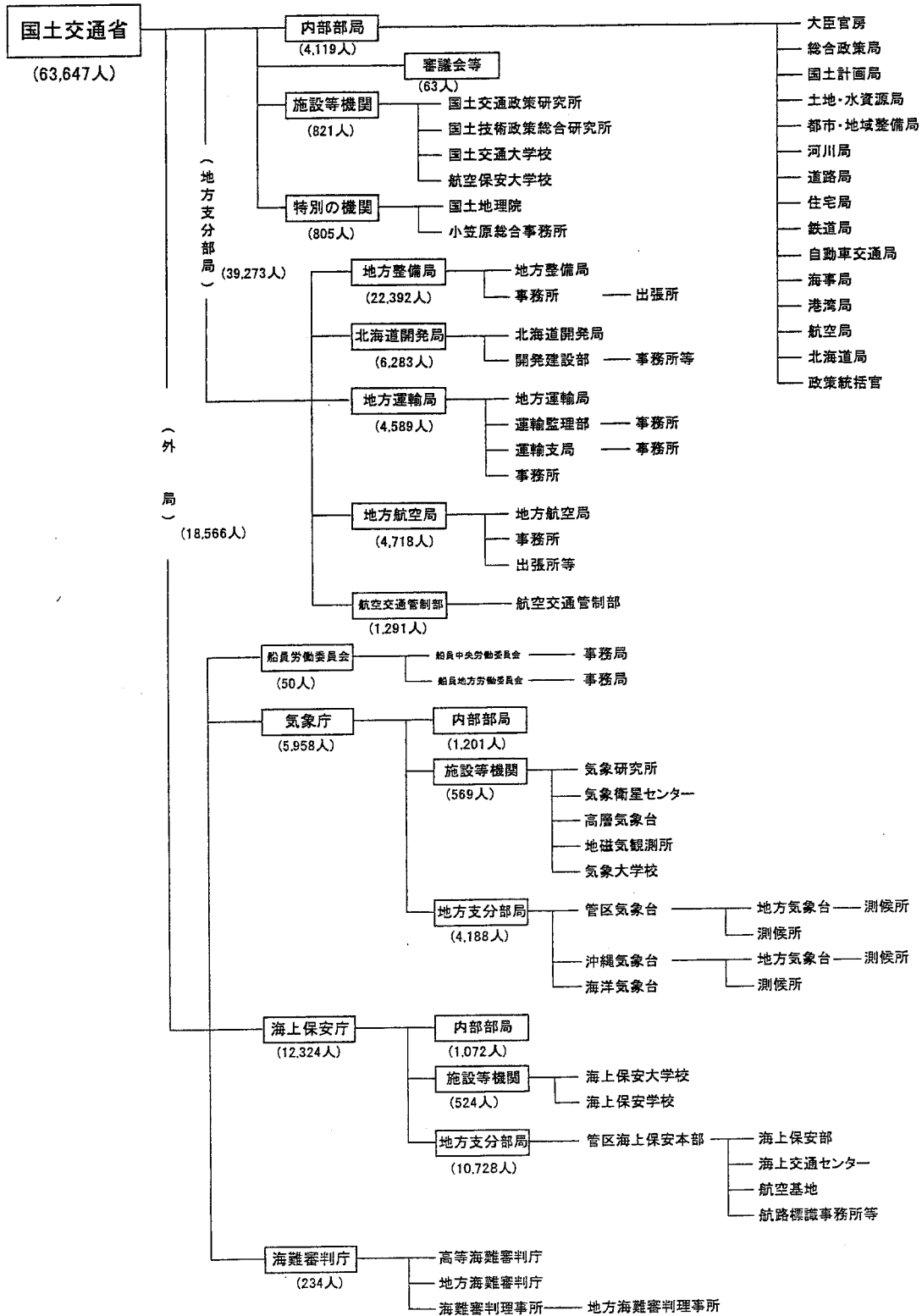
② 歳出

平成 17 年度における歳出予算現額は 535,146 百万円であって、その内訳は歳出予算額 503,167 百万円（当初予算額 497,323 百万円、予算補正追加額 5,969 百万円、予算補正修正減少額 126 百万円）、前年度繰越額 29,840 百万円、特別会計予算総則第 13 条第 6 項の規定による経費増額 2,138 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 442,343 百万円、翌年度繰越額は 72,503 百万円、不用額は 20,299 百万円である。

国土交通省の組織及び職員数(平成17年度末現在)

<組織図>



(注)平成17年度予算定員である。

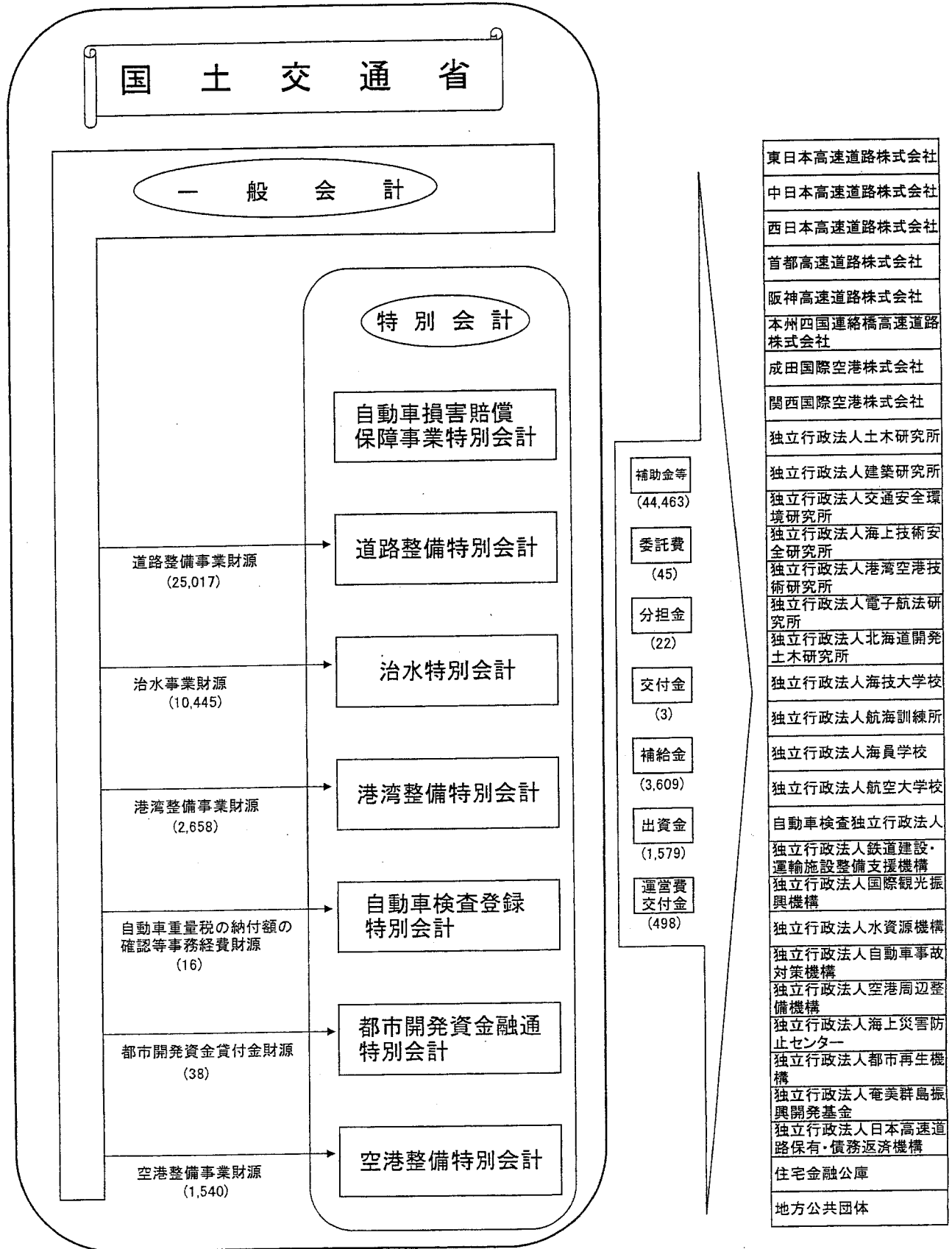
<職員数(会計別)>

一般会計	35,624人	港湾整備特別会計	2,116人
自動車損害賠償保障事業特別会計	93人	自動車検査登録特別会計	1,941人
道路整備特別会計	8,132人	空港整備特別会計	7,424人
治水特別会計	8,317人	合計	63,647人

(注)平成17年度予算定員である。

国土交通省における会計・特殊法人等への財政資金の流れ

(単位:億円)



(注)法人の名称は平成17年度末現在である。